

RDA 東京大会における議論を踏まえた
研究データ共有の最新動向

研究データと オープンサイエンス フォーラム

研究データ同盟 (RDA) 東京大会における議論やオープンサイエンスに関する動向を踏まえながら、研究データの共有について、研究者や図書館員をはじめ様々な立場の人々が共に考えていける場にしたいと考えています。基礎的知識に関する講演もありますので、研究データに興味はあるものの敷居が高いと感じている方も、どうぞお気軽にご参加ください。

受講料無料

2016年

3月17日木

開催
日時

開場 13:30 講演 14:00~17:45

開催
場所

国立国会図書館 東京本館新館3階大会議室(主会場)
関西館第一研修室(東京本館 LIVE 映像による聴講・質疑)

申込
方法

国立国会図書館ホームページ「イベント・展示会情報」の当該イベントページ
(<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/201603forum.html>)より申込みを受付

〔定員〕 東京本館 90名・関西館 60名

※先着順に受付。定員になり次第
申込受付を締め切ります。

〔お問い合わせ〕 国立国会図書館電子情報部
電子情報企画課

電 話 : 03-3506-5167 (直通)
FAX : 03-3581-0768
E-mail : forum201603@ndl.go.jp

主 催 : 国立国会図書館 / 国立情報学研究所 / 科学技術振興機構

研究データに関する世界的な国際会議である研究データ同盟（Research Data Alliance）東京大会（平成28年3月1～3日）がこのたび開催されることとなりました。これを機会に、研究データ共有に関する国内外の最新動向を広く共有するためのフォーラムを開催します。

日本でも研究データに関する動きが最近は加速しつつあります。例えば、ジャパンリンクセンターでは研究データへのDOI登録実験プロジェクトが進み、研究データの共有を目指す新たなコミュニティが広がりつつあります。また、国もオープンサイエンスの推進を前面に打ち出しており、研究活動や図書館活動等における仕事の進め方にインパクトを与えることが予想されます。

こうした潮流をどのように捉えればよいのでしょうか？ RDA 東京大会における議論や国内外の動向を踏まえながら、研究者や図書館員をはじめ様々な立場の人々が共に考えていける場にしたいと考えています。基礎的知識に関する講演もありますので、研究データに興味はあるものの数居が高いと感じている方も、どうぞお気軽にご参加ください。

プログラム

1 14:00～14:05 >> **開会にあたって** 国立情報学研究所准教授 北本 朝展

2 14:05～14:20 >> **研究データとオープンサイエンスに関する基礎的知識**
国立情報学研究所准教授 北本 朝展

3 14:20～14:35 >> **（仮称）研究データ利活用協議会について**
国立情報学研究所 教授 武田 英明

4 14:35～14:45 >> **研究データ同盟(RDA)とは何か？**
情報通信研究機構統合データシステム研究開発室長 村山 泰啓

5 14:45～16:45 >> **RDA 東京大会参加報告**

14:45～15:30 >> **PART1**

京都大学大学院理学研究科附属地磁気世界資料解析センター助教 能勢 正仁

東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 小野 雅史

総合地球環境学研究所准教授 近藤 康久

<15:30～15:45 >> 休憩>

15:45～16:45 >> **PART2**

国立情報学研究所特任准教授 蔵川 圭

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 池内 有為

千葉大学附属図書館利用支援企画課 三角 太郎

国立国会図書館電子情報部電子情報流通課 福山 樹里

6 16:45～17:40 >> **フロアも交えたディスカッション**

司会：情報通信研究機構統合データシステム研究開発室長 村山 泰啓

7 17:40～17:45 >> **閉会にあたって** 国立国会図書館電子情報部長 田中 久徳